平成 21 年５月発行

洛西ニュータウン創生推進ニュース

vol. 13

平成 21年度の委員会の活動方針を決定
～　部会委員の公募を実施します　～

第９回委員会風景

平成 21 年度最初の「洛西ニュータウン創生推進委員会（第９回）」が４月 24 日，洛西総合庁舎で開催されました。

今回の会議では，前年度の事業報告後，新年度の委員会の体制を確認し，委員会・部会の活動方針などについて議論を行いました。

特に，委員会が，まちづくり活動の連携を働きかけることによって，洛西ニュータウンの有する様々な“資源”を有効に活用するとともに，まちの将来像の議論を重ねていき，居住に関わる多様な価値観を共有することで，居住文化を創っていこうという方向性を確認しました。また，委員会がまちづくり組織として自立・持続していくことを目指して，専門の「ワーキングチーム」や「事業運営チーム」を設置するなど委員会の今後の体制づくりに向けての議論を進めていくことを決定しました。

さらに，今年度の部会活動の方針のもと，新たな発想で楽しく一緒にまちづくりに参画していただける方を，広く住民の皆さんから部会委員として募集することを決定しました。

多くの皆さんの応募をお待ちしています。

次ページ以降に部会委員の応募方法等について掲載しておりますので，ぜひご覧ください。

洛西ニュータウン創生推進委員会（平成２１年度）

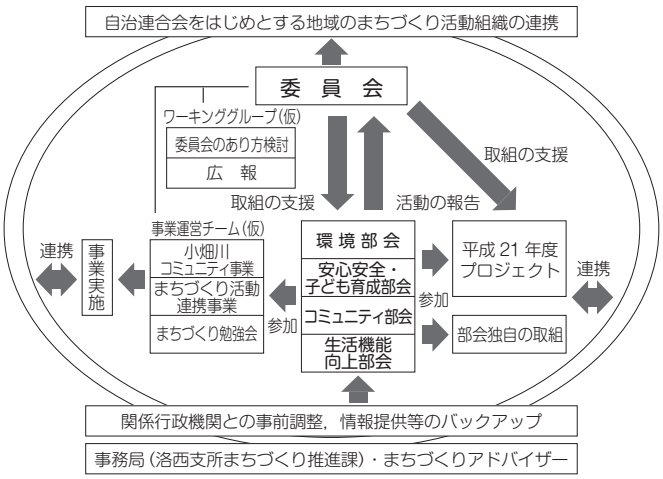
・委員

◎勝本　竹彦　新林学区自治連合会
○山田　隆義　境谷学区自治連合会
　井上　愛子　福西学区自治連合会
　島本栄三郎　竹の里地域自治連合会
　新治　光子　洛西ケーブルビジョン株式会社
　中川　敏逸　ラクセーヌ商店会
　西川　信行　京都市住宅供給公社
　水口　重忠　洛西支所
◎ 委員長　　○ 副委員長

・アドバイザー

　安枝　英俊　京都大学大学院工学研究科助教

【委員会体制のイメージ図】



◆ 第９回委員会で出された主な意見

・委員会の活動が議論から実践へと進んできている。住民の多様な考え方をどうまとめ，資源をどのように活用していくかが課題である。

・健康や医療に関わる取組，市立芸大との連携した文化的取組など，地域にさらに活動が広がる取組を検討すべき。

・「小畑川コミュニティ事業」は，「西京区ふれあいまつり」への出展など地域のイベントとの連携が有効。洛西ニュータウンの住みよさを発信するよい機会ともなる。

回覧														